

ごあいさつ

第30回 道銀芸術文化奨励賞受賞を記念して

札幌市在住の美術作家 クスミエリカさんに

個展を開いていただくことになりました

作家独自の感性で捉えた世界を

是非この機会にご高覧賜わりますよう

ご案内申し上げます

2021年2月

公益財団法人 道銀文化財団

## らいらっく・ぎやらりい

札幌市中央区大通西4丁目  
北海道銀行本店ビル1F

地下鉄大通駅【出口4-9】直結  
市電西4丁目停留所 徒歩2分



### 公益財団法人 道銀文化財団

札幌市中央区大通西4丁目1番地 道銀ビル別館8F  
TEL : (011) 233-1029 / FAX : (011) 221-0481  
URL <https://www.dogin-bunkazaidan.org>

本冊子に掲載されている図版等の無断転載を固く禁じております。

2021年2月9日(火)～2月21日(日)  
午前10時～午後6時(最終日は午後4時まで)  
らいらっく・ぎやらりい

クスミエリカ展

第30回 道銀芸術文化奨励賞 受賞記念

クスムエリカのデジタルコラージュが創り出す世界は、一見雑然としたイメージの集積に見える。しかし、時間も空間も異なる風景が幾層にも重ねられて生まれるドラマ性や、抑制の効いたトーンの色調によって、美しい異空間の幻想性がより高められ、観る者を惹きつける。

素材は、すべて自身で撮影したデジタルデータである。ひとつひとつのイメージは、誰もが観ることのできる現実世界の断片でありながら、それらを再構成することで、超現実の世界ができあがる。しかしクスマは、それはあくまで日常の延長線上にある世界であるとし、コラージュすることによって、多面的に現実を見せようとしているのである。

クスマは生と死、生命の循環を一貫して制作テーマとしてきたが、近年は産業遺産を巡る時間の考察なども加わって、メッセージ性も含んで、変転する現実の有様を、より豊かに美しく見せている。

クスマの洗練された感覚が創る世界は、観るほどにそこに足を踏み入れたくなるファンタジックな空間であり、人々を魅了してやまない。

久米 淳之 (北海道立近代美術館 学芸統括官)



クスムエリカ

#### 【略歴】

1982年 札幌市出身・在住

2005年 札幌大学文化学部比較文化学科 卒業

#### 【主な受賞歴】

2020年 札幌市文化奨励賞受賞

#### 【近年の主な活動歴】

2012年 個展「白の虚像」(salon cojica/札幌)

2014年 北海道文化財団アートスペース企画展Vol.19

クスムエリカ展「ambivalence」(北海道文化財団アートスペース/札幌)

- 2016年 「モーション／エモーションー活性の都市ー」(札幌芸術の森美術館/札幌)  
「JRタワー・アートプラネット2016 夢・つなぐ風景」(プラニスホール/札幌)  
「ジ・アートフェア+プリユスーウルトラ2016(ギャラリー門馬)」(スパイラル/東京)
- 2017年 個展「変転のコリドー」(ギャラリー門馬ANNEX/札幌)
- 2018年 「3331アートフェア 2018」(3331アーツ千代田/東京)  
「Utopia & Chaos」(スパイラル MINA-TO/東京)  
「CASE:10 -scape」(CIBONE CASE @ GINZA SIX/東京)
- 2019年 個展「Polyhedron」(ギャラリー門馬/札幌)  
「VOCA展2019」(上野の森美術館/東京)  
「JRタワー・アートプラネット2019 若きstorytellers 北の絵画のいま」(プラニスホール/札幌)  
「2+2 北海道・光州美術交流展 2019」第1期(ギャラリーレタラ/札幌)  
「ART TAIPEI 2019(秋華洞)」(台北ワールドトレードセンター/台湾)
- 2020年 「わくわく★アートスクール2020 ファンタジー×リアリティ クスムエリカ」(本郷新記念札幌彫刻美術館/札幌)

フォトグラファー、ウェブデザイナー、美術作家。自ら撮影した写真のみで構成するデジタルコラージュ作品を制作し、北海道内外で活動。誰もが目にすることが可能な現実の風景を再構成することで、非現実な世界観でありながらも、現実・日常の延長線上、あるいは平行線上に存在する世界であることを表現する。シェアオフィスtab所属。



Metropolis  
2019年



Utopia  
2020年



Obtrusive  
2020年



Biotope  
2020年